

経営比較分析表（令和4年度決算）

千葉県 旭市

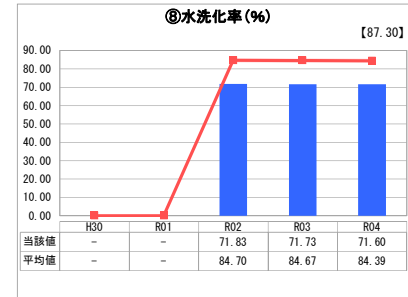
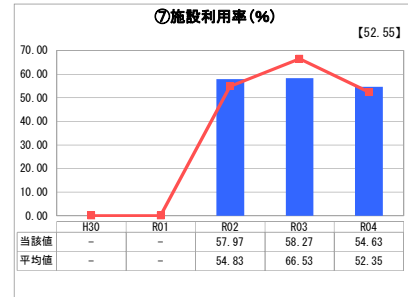
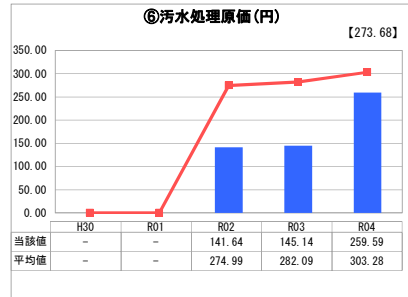
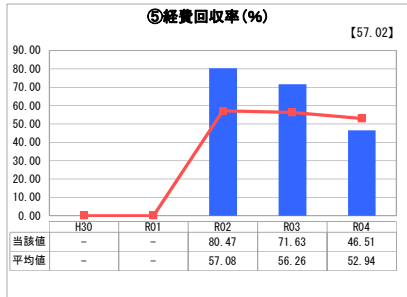
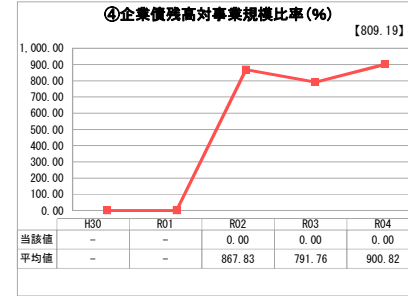
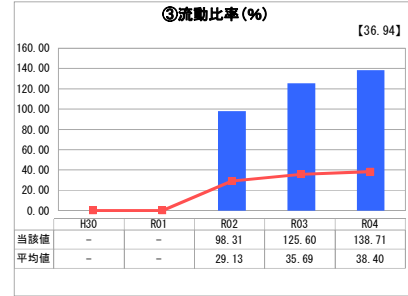
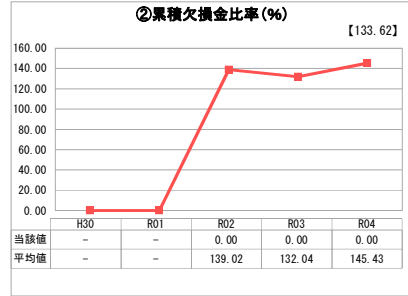
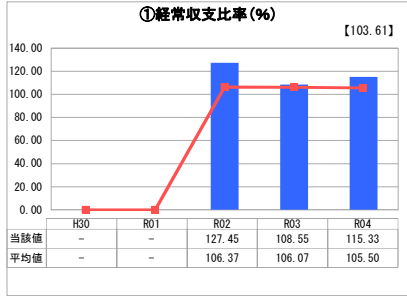
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	81.28	2.64	100.00	3,190

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,379	130.48	485.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,662	0.48	3,462.50

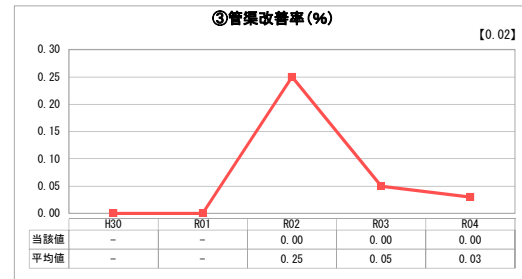
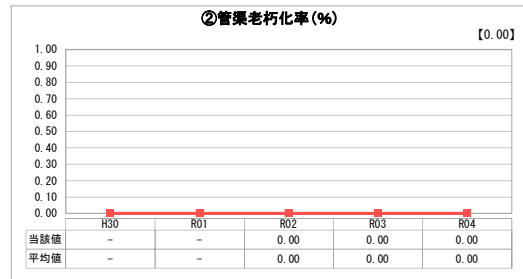
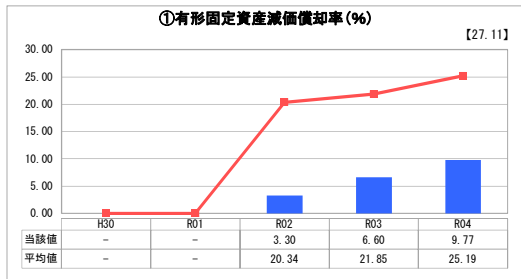
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似団体の平均値よりも若干高いが、今後も施設の老朽化による修繕費の増加や、人口減少に伴う使用料収入の減少が予想されることから、大幅な向上は見込めない状況である。

施設利用率については、昨年度と比べ3.64ポイント減少したが、類似団体の平均値が14.18ポイント減少したことにより、類似団体の平均よりも上回っている。

また、汚水処理原価が修繕費や動力費の大幅な増加により、昨年度と比べ114.45ポイント増加していることから、経費回収率が25.12ポイント減少している。

企業債残高対事業規模比率については、使用料収入が少なく、企業債の償還に要する資金の全部を一般会計等において負担することとしているため、0となっている。

2. 老朽化の状況について

本市の農業集落排水事業は供用開始から25年が経過しており、管渠部については、老朽化が著しい一部の路線の老朽化改修工事以外の老朽化対策は行わず、既存施設の修繕等を実施しながら長寿命化を図ってきた。

今後は、令和元年度に策定した最適整備構想に基づき、中長期的な状況予測を図りながら、将来訪れる施設の老朽化に備えていく。

全体総括

令和2年度から地方公営企業法を適用したことから、令和元年度以前の実績について記載がないが、使用料収入については大きな変化がなく、一般会計からの繰入金割合が高い状況にある。また、施設の老朽化により更新、修繕等が増加していくことが予想される。

今後は最適整備構想に基づき、計画的に修繕を行うことで、汚水処理費の増加を抑え、経常収支比率と経費回収率の向上を目指したい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。